



沖縄高専だより

National Institute of Technology, Okinawa College



目次

1. 校長より	2	10. 2年生クラスの様子・活動紹介	11
2. 副校長の紹介	3	11. 3年生クラスの様子・活動紹介	12
3. 1年担任からの挨拶	4	12. 学生会より	13
4. 2年担任からの挨拶	5	13. 寮生会より	14
5. 3年担任からの挨拶	6	14. 航空技術者プログラムの紹介	15
6. 4年・5年担任からの挨拶	7	15. 観光・地域共生デザインコースの紹介	16
7. 専攻科の紹介	8	16. キャリア教育センター活動紹介	17
8. 課外活動の様子 (ICT委員会)	9	17. 卒業生の活躍の様子	18・19
9. 1年生クラス紹介・入学してからの感想	10	18. 後学期行事予定表	20



沖縄工業高等専門学校

さとう たかや
校長 佐藤 貴哉

沖縄工業高等専門学校は創立20周年を迎え、本年9月16日に記念式典を挙げる予定です。沖縄高専は『人々に信頼され、開拓精神あふれる技術者の育成により、社会の発展に寄与する』を理念として創設されました。以来、情報通信工学、メディア情報工学の二つの情報系学科、もの造りの基盤である機械システム工学、沖縄の天然資源とライフサイエンスをカバーする生物資源工学の4学科の構成で、技術者教育と地域に役立つ研究活動を20年に亘り行ってきました。サイエンスを理解し、それを技術に落とし込むことが出来る技術者・研究者の養成が沖縄高専のミッションだと考えています。『技術とアイデアで社会に貢献する技術者になろう！』、20年変わらない沖縄高専のスピリッツです。

今や日本では、小中学生も『持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）』を意識しています。加えてデジタル技術の大きな進展によって、人工知能（AI）がいろいろな場面で用いられるようになりました。沖縄高専学生の最も得意な分野は正に（SDGs×AI/ITC）を基盤とするモノ造りとコト造りです。学生は自らのアイデアや技術を組み合わせ新しいシステムを創出し、様々なコンテストで披露して、社会実装を目指します。最近の学生が開発した技術としては、海岸上空のドローンが、カメラを通じて危険な遊泳者をAIで検出し救援を行う、海・空ドローン連携による水難警告システムや沖縄での赤土流出による海洋生態系への悪影響を減らすために水中ドローンを用いて、環境音と画像を取得するシステム、海中に生息するテッポウエビの健康度を測定するシステムなど、いずれも社会に貢献できる素晴らしい技術ばかりです（上記は第6回WiCON2022（高専ワイヤレスIoTコンテスト2022）本選入賞。他にも、歌の習熟度をAIに判定させるシステムという遊び心に満ちたユニークな開発も行われていて、正にZ世代技術者のアイデアと技術の結晶と言えるでしょう。

4月から沖縄高専は次の十年を見据えて、新しい教育・研究コース「観光・地域共生デザインコース」を設置しました。このコースではICTとデータサイエンスを駆使して、沖縄の産業界にイノベーションを起こす技術者を育成します。技術のみならず、沖縄の文化や環境、企業経営なども重要視し、アントレプレナーシップを醸成するための教育手法も加えて、『エンジニアの新たな可能性』を学生と共に追及していきます。沖縄高専発のスタートアップがGAFAを超える企業に成長することも夢見ながら、これからの沖縄高専の技術者育成をさらに高度化していきます。保護者の皆様、地域の皆様方のご協力を宜しくお願い致します。結びに、旧年度にも増して関係各位に創立20周年を迎えた本校の教育・研究にご理解を頂き、更なるご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

副校長の紹介



副校長
(総務担当・国際担当)
たなか ひろし
田中 博

④ 1日の中で一番好きな時間

朝、目が覚めて、ベッドの上で過ごす何もしないひととき

タイ高専 (KOSEN-KMITL) での任期 (2021年度~2022年度) を終えて沖縄に戻りました。4月初、「なんて沖縄は涼しいんだ」と“安心”していたのですが、梅雨明けからの酷暑には参りました。その土地には、その土地ならではの気候や文化・風習、習慣があり、そして人がいます。その人たちを相互に繋ぐと、人が持つ色々な見えるもの、人に宿る様々な見えないものが混ざり合って“楽しく”なります。そんなキャンパスにしたいな!



副校長
(教育・入試担当)
まきし おさむ
眞喜志 治

④ 最近繰り返し思うこと

えーっ?!また俺(俺_俺)!

技術の進歩とともに、技術者に求められることは変わってきています。技術者に求められることが変われば、それを育てる高専に求められることも当然ながら変わります。新たな教育プログラムのスタートを機に、変化する時代に対応できる技術者を育てるための教育の在り方、組織の在り方を真面目に考えてみたりしています。考えるだけではなく、実現に向けて取り組むことがこの立場に求められていることであるならば、現状の不安要素を吹き飛ばすほどの勢いを持たなければならぬだろうと、一旦、他人事のように考えることにしています。



副校長
(学生・キャリア支援・
寮務担当)
かみさと しほこ
神里 志穂子

④ 最近気になっているもの

OB・OGの活躍

副校長 (学生・キャリア支援・寮務) を担当させて頂いて、2年目に入りました。昨年度より数段ギアを上げる事が求められる場面も多くなりますが、学生の皆さんや教職員の皆さんに支えてもらいながら、学生達の学校生活をサポートしています。体育祭では、多くの保護者の皆様にご観覧頂き、体育祭実行委員もとても喜んでいました。ご参加ありがとうございました。学生達の活動も活発になっており、部活動・研究活動・体育祭・高専祭と学校全体が活気に満ちています。また、キャリア教育の面では、アントレプレナーシップ教育を全ての学年でスタートさせ、OB・OGの先輩方で、起業している卒業生にも協力してもらい、学生達への新しい学びを提供しています。



副校長
(研究・産学連携担当)
いとう まさあき
伊東 昌章

④ これまでに住んだところ

北海道 (出身地)、山形県、京都府、大阪府、沖縄県と順調に南下しています

皆さん、こんにちは。副校長 (研究・産学連携担当) の伊東昌章です。普段は生物資源工学科の教員として講義をし、また、生物3年副担任をしています。学生の皆さんにはあまりなじみのない担当かと思いますが、その職務内容は、研究を通じた教育、地域企業様等との産学連携活動を通じた教育を推進していくことです。学生の皆さんが研究や地域課題解決の視点を持てるようにサポートしていきます。がんばっていきましょう。



副校長
(特命・IT 担当)
よなみね たかひろ
與那嶺 尚弘

④ 最近気になっているもの

大谷翔平選手と宮城大弥選手の活躍、ガソリンの値段

沖縄高専に着任して4年目が経ちました。沖縄出身ですが宮城県仙台市で26年過ごしたため、沖縄の面白さに改めて気付きます。思いつくままに挙げると、かりゆしウェアの自由さ、飲食店の名前がユニーク、ラジオが身近、社員が出演するテレビCMが多い、行事やイベントが多い、飲み放題の時間が長い、食堂や弁当屋が多い、沖縄色が強いコンビニ、などなど。沖縄には昔も今も独自性を楽しむ雰囲気や文化があるように感じています。

1年担任からの挨拶



こいけ かずとし
1年1組担任 小池 寿俊

🌀朝起きて一番にすること
検温(いつまで…?)

1年1組担任の小池寿俊(こいけかずとし)です。1年生の基礎数学IIという科目を担当しています。この原稿を書いているのは7月末で、台風6号が発生して今後の授業や前期期末試験への影響が懸念されています。

毎年この7月下旬から8月中旬にかけてが、沖縄高専1年生にとって肉体的にも精神的にも最もしんどい時期ではないかと、以前から考えておりました。一番暑い時期で体調も崩しがちな上に、小中高の学校はすでに夏休みに入っています。世の中も完全に夏休みムードです。そんな中で試験勉強をして前期期末試験を受けなければなりません。(終戦記念日に試験をやった年さえありました。)

いつもは学生に、「ちゃんと授業を聞いて」、「もっと勉強しよう」、「課題も忘れないで」と注意ばかりしていますが、そう考えると、今年の1年生も本当によく頑張っているな、と思い直します。昨日の放課後も、「三角関数、公式多過ぎ!」と文句(?)を言いながらも、試験勉強で数学と格闘している学生たちがいました。大変なことも多い高専生活ですが、彼らが充実した学生生活を過ごせるよう、担任として数学教員として、少しでも力になればと考えております。



わたの だい
1年2組担任 和多野 大

🌀自分が目指すイケメン理想
トム クルーズ

こんにちは、わた~によです。先生と呼ばれることを苦手としている教員は珍しいかもですね?

1年2組、とにかく脚が速い! 50m走6秒台が11名! 2組以外は4~5名で、5年生まで参加する体育祭で史上初の1年生クラスの総合優勝を演じたのも納得です。身体も心も活発な学生が多く、スポーツの教員の私としては嬉しい限りです。今年度も学年主任を務めていますが、今年度の1年生(20期生)、全体的に勉強やスポーツへの意識が高く、独特の雰囲気がありますね、有望な将来性を感じます。このまま高専5年間を駆け抜けて、伝説になってほしいな! まだ1年生の前期、先は長いですが、しんどいことたくさんあります、そんなときはとにかく笑顔ね! いつでもスマイルしようね? 「苦しいときは逃げてもいい」かもですが、そればかりでは成長の望みが薄いと思います、あえて向き合って切り抜けたり越えたりできたときの自信と経験が、望み多きその先へつながっていくのね。私はスライムのように笑顔と元気を日々みなさんに届けていきます!



よし い けいすけ
1年3組担任 吉居 啓輔

🌀似ていると言われる芸能人
トム クルーズ

今年度1年3組の担任をすることになった吉居です。沖縄高専に赴任して10年目になりますが、1年生を担当するのは初めてで、1年生と接する機会はこれまでは多くはありませんでした。2年生以上の学生が「1年生はキラキラしてる」や「若々しい」と言っているのを聞きながら、「君たちもほとんど変わらないでしょう!」と言っていたのですが、1年生の担任をしてみると、1年生は本当にキラキラしていて、いつも元気をもらっています。

今この原稿を書いているのは、期末試験の直前の時期で、多くの学生が放課後も残って勉強を頑張っています。1年生の数学の授業を担当することにも慣れていないので、私も緊張しながら一緒に勉強をしているのですが、1年生で学ぶ1つ1つの知識が専門の勉強を深く理解するための有用な道具になると信じています。1年生にとっては、今が一番大変なときだと思いますが、これを乗り切って後期からも楽しい思い出を沢山作って欲しいと思っています。



やまうち よしゆき
1年4組担任 山内 祥之

🌀好きな食べ物
日本そば

こんにちは、2023年度1年4組の学級担任の山内です。高専に着任して3年目になりますが、それまでは県立高校で教諭として働いてました。教科は英語です。1年生のECP1の授業を担当しています。1年4組はどちらかというと、おとなしいクラスという印象です。ただしLHRなどの話し合いの場面では、自分の意見をしっかり出してくれる芯の強さも兼ね揃えていると感じています。個人の意見を集約して、できるだけ皆が納得できるように、クラス全体の意思を決定するのがとてもスムーズです。学習面では、中間試験も終わり、高専の授業のレベルの高さやスピードに少しとまどっている時期かもしれません。しかし皆で励まし合いながら、必死に頑張ろうとする雰囲気の良さを感じます。後期は高専祭など、クラスで取り組むイベント事もあります。勉学にもしっかり取り組みつつ、仲間たちと充実した高専生活を送ってください。

2年担任からの挨拶



さわい まなみ
2年1組担任 澤井 万七美

📍これまで住んだことのある土地
大阪府大阪市・山口県下関市

数年振りの主担任です。クラスの学生さんたちは、担任の仕事を実に良くサポートしてくれています。ほんとうに感謝しています。

クラス全体が活気ある雰囲気であることが1組の特長です。前期の特別活動（ロングホームルーム）では、次のようなクラス企画を実施しました。

- ・4月26日 クラスレクリエーション① 狼人・紙タワーコンペ
- ・5月10日 クラスレクリエーション② バスケットボール・バドミントン

いずれもクラス三役の学生さんたちが主導し、皆が打ち解けていく良いきっかけを作ってくれました。一時期感染症が学年全体に拡大したために、3つ目のクラスレクリエーションは延期となりましたが、後期に折を見て実施したいと考えているところです。また、後期には高専祭が控えています。どのような企画が完成するか、これから楽しみです。

保護者の皆様におかれましては、今後とも学校側への御理解ならびに御助力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



なりた まこと
2年2組担任 成田 誠

📍大切にしていること
身体と時間

2008年に沖縄高専に着任して以来3回目の担任、また2回目の学年主任です。担任としての経験は未熟ではありますが、他の先生方そして誰よりクラスの学生の皆さんに助けて頂きながら毎日を過ごしております。

2組は総じて『大人しい』と言えるでしょう。それは活気がない訳ではなく、個々がそれぞれ自身のやるべきことを理解して行動している、他者に迷惑をかけない、干渉しない、この結果だと理解しています。また、欠席や遅刻が比較的少ないことから、体調管理などの自己管理がきちんとできているとも言えるでしょう。

個人面談を通して感じたこととして、自身の将来をよく考えている学生が多いことでした。未だ2年生とはいえ、半年後には3年生で高専生活も後半に入ります。ゴールを目指してより真剣に取り組んでもらえると嬉しいです。

最後に保護者の皆様におかれましては、今後ともご理解ご協力の程、何卒宜しくお願い致します。



よしい りさ
2年3組担任 吉井 りさ

📍最近、感動したのは？
総合美術部の展示会 & 軽音楽部のコンサート♪

Hello! 今年も「2年さわやか3組」担任の吉井です。2年生の科目ではEnglish SkillsIIを担当しています。ダンス部の顧問（ファン）でもあり、高専祭はクラス企画をはじめ、いろいろなパフォーマンスに期待しています。

今年の3組さんの座席配置法はとてもアーティストックです。最初の席替え時、教卓前に座席を配置しないアイデアがだされ、それにより最前列の視界が開けています。斬新ですばらしい提案に感心し、今後も採用したい空間活用法です。また、「学級日誌」に芸術（イラスト）的な作品を描いてくれるartisticな学生が多いです。サカバンパスピスやアノマロカリス等、授業で学んだ内容のすてきなアート作品の数々に癒されています。後期の高専祭のクラス企画は様々なアイデアがだされ、何に最終決定するかはまだわかりませんが、4月の体育祭のようにアーティストックに思いっきり楽しんでほしいです。

今夏、沖縄で「FIBA Basketball World Cup 2023」が開催されます！そこで、クラスの学生に紹介したバスケのlegendであるMichael Jordan（マイケル・ジョーダン）の名言をシェアします。

“Talent wins games, but teamwork and intelligence win championships.”

シンプルな表現ですが、とても深いですね。

Enjoy your life at 沖縄高専! & Good luck in your future!!!



ほしの えりこ
2年4組担任 星野 恵里子

📍最近気になっている人
近藤健介

皆様、2年4組担任の星野恵里子と申します、よろしくお願い致します。2年4組の特徴を一言でいうと「ノリが良くて面白い」と言えましょう。例えば、年度初めのクラス役員決めの際は、多くのポジションに立候補してくれる学生が相次ぎ、すぐに決まりました。また、席替えに命を懸けている学生が多数存在しているのももう一つの特徴と言えます。第1回目のくじ引きによる席替えでは、トレードに次ぐトレードで狙った座席を獲得しようとし、席替えに1時間近く費やしていました。ちなみに、次回の席替えからは「トレード禁止令」が発令されました。

昨年度は1年生の授業を担当していたので、多くの学生の成長を目の当たりにしています。学生の成長する速度は個人差があり、時間をかけてゆっくり少しずつ成長していく学生もいます。そのような学生の良さこそ引き立てていければ、と思っています。

3年担任からの挨拶



つむら たくや
機械システム工学科 津村 卓也

◎似ていると言われた芸能人

本人は、どの芸能人にも似ていないと思っていますが…家族には及川 光博さん似と言われます。

数年ぶりに3年担任を仰せつかってから、あっという間に4ヶ月が過ぎてしまいました。年度当初は、教室に掲示している時間割の空きコマに「ふり返り学習」と記入し、18期3年生と密な関わりを持つと！と意気込んでおりましたが、4月中旬～5月中旬に行った個人面談以外には学生たちとゆっくりと話す機会さえ持たず、前期も終わりに近づいてしまいました。

3年生の夏休みは、高専生生活のちょうど折返し地点で今後の進路を決める大切な時期になります。この機会に将来のことについてご家族の皆さんとゆっくり時間を取って十分に話し合い、少なくともこの文を読まれる時には進学か就職かの方向性を決めておくことを願っています。今後の人生に大きくかわる進路を考えて決めていくことは大変かと思いますが、自分自身には一見関連がないと思われるような時事・社会問題などにも興味を持ち、主体的・積極的に情報を集め、悔いのない進路決定ができるように努力して下さい。



やまだ ちかとし
情報通信システム工学科 山田 親稔

◎私の失敗した話

海外でパスポートを紛失したこと

皆さん、これまでに何かで失敗したことはありますか？
おそらく失敗したことがないという人はいないでしょう。
私は、学生時代に大きな失敗をしたことがあります。それは、海外でパスポートを紛失したことです。

大学生の頃、カナダのビクトリア大学で1カ月間の語学研修に参加したとき、ふとパスポートがないことに気づきました。在バンクーバー日本国総領事館で「帰国のための渡航書」の発給が必要だとわかり、そのための紛失届を提出するため地元の警察署へ行くことにしました。すると窓口の担当者からすぐに「You are lucky!」と言われ、なんと現地のダウンタウンにある郵便局近くでパスポートを拾った方が警察署に届けてくれたのです。パスポートが見つかったので無事に帰国することができ、今ではカナダが日本の次に好きな国になっています。

情報通信システム工学科3年生は、台湾への研修旅行を控えていますので、私と同じような失敗をしないように気を付けてください。



さとう たかし
メディア情報工学科 佐藤 尚

◎好きなこと

UMPCと戯れる・RNNやRLの能力限界の追究・猫に顔を埋める・冬キャンプ・nanaで歌う

「野望」を持ってください。大それた、叶いそうにない望みであっても、自ら決めた野望は人生の「核」となり、突き進むための原動力になります。研究で例えるなら、自分で見出した「新しい世界」を自ら切り開き、道を創り、そしてその先にあるであろう誰も見たことのない新しい世界の風景を自分が最初に見るといことが研究における野望と云えそうです。それは、ある意味競争でもありますから、研究者を目指す人には、世界中の誰よりも先に新しい世界を切り開く人になって欲しいと思います。それが最初はどうな些細な、どんな小さい世界であっても良くて、それをどんどん研究を進めて大きく開拓すれば良いのです。

ルールを作り出す主体群とそのルール自体のオープンエンドな変化に惹かれる人はいませんか？ 生命の多様性や複雑性に興味を持っている人はいませんか？ 学習や進化などの自己を改変／発展させるための仕組みによって動的に変わり続けるプログラムが示す複雑で多様な振る舞いや全く予想できないダイナミクスの楽しさを味わいませんか？ さあ、一緒に佐藤研で「新しいリアリティ」を構成しましょう！



さんみや かずつか
生物資源工学科 三宮 一幸

◎尊敬する人

グレゴール・ヨハン・メンデル、南方熊楠、岡本太郎

人類が一番食べているものはお米です。そして実は、お米は足りていません。現在の世界飢餓人口は8億人です。私は、お米を研究しています。遺伝子組換えで、+2°Cでも枯れない植物を作ることではできましたが、現在流通しているお米の全品種を遺伝子組換えするには、あと何十年も必要です。そこで私は、近い将来の深刻な食糧危機にも間に合うように、研究方法を方向転換して、今がんばっています。

アジアは米文化ということで先日、あるアジアの大変素晴らしい先生と研究の打合せをしました。その先生の学生さんとも会いましたが、ものすごい勢いで勉強・研究していました。それでは沖縄はどうでしょう。沖縄の美しいもの、といえば豊年祭です（個人の意見）。お米の豊作を祈って、皆さん熱くなります。ところがある時！私はある沖縄高専生から「豊年祭って何？」と聞かれました。愕然。でも安心してください。（出身地に関わらず）皆さんは現在、人生で一番大切な時を、沖縄で研鑽しているのだから、島人の宝とは何かを、知っていますよね。

4年担任からの挨拶



たけむら ふみあき
機械システム工学科 武村 史朗

🗨️ 仏壇持ちでも経験される方少ないのでは？
位牌の作り替えを先日しました。日取りの設定とかいろいろありましたねえ。

夏季休暇に学生がインターンシップに参加しますが、この時期（7月下旬）は全員の行先は決まっていないので、ハラハラの毎日です。



きんじょう いちこ
情報通信システム工学科 金城 伊智子

🗨️ テンションが上がる瞬間
ディズニーランドのシンデレラ城が視界に入った瞬間

ここ数年ずっと副担任ばかりだったので、久しぶりの担任にある意味テンションが上がっています。



きんじょう あつし
メディア情報工学科 金城 篤史

🗨️ 最近気になっていること
の〜んびり生活する方法

ここ数年、副担任が多く久しぶりの担任となりました。4年生はこれから卒業・進学・就職、いろいろとありますがどれだけ自分事と考えられるか大切だと思います。必要なことはしっかり自分事として考えて！



たなべ としあき
生物資源工学科 田邊 俊朗

🗨️ 普段気をつけていること
学生の対応

学生の進路希望がなるべく叶うように、意識付けや対策を早めに始めることを勧めています。

5年担任からの挨拶



まきし おさむ
機械システム工学科 眞喜志 治

🗨️ 薄々感じていたけど、最近確信したこと
周りは全員敵

平成最後の入学生として、大きな希望を胸に入学した学生達だと思っていたのに…。卒業まで、不安とともに見守りたいと思います。



たから ひでひこ
情報通信システム工学科 高良 秀彦

🗨️ 最近気になっているもの
■ウォーキングの再開

卒業へ向けて残り半年を充実した高専生活にしてください。「やりたいこと」よりも「やるべきこと」を優先しましょう。



よなみね たかひろ
メディア情報工学科 與那嶺 尚弘

🗨️ 最近残念に思うこと
読書時間が極端に減ったこと

本科の最終学年となりました。月並みですが、卒業までの残り半年を充実して過ごして欲しいと切に願います。



たまき やすとも
生物資源工学科 玉城 康智

🗨️ いま頑張っていること
TOEFLテスト

5年生は最終学年となりました。早いですね。卒業まで油断せず、充実した日々を過ごして下さい。

専攻科の紹介



専攻科長 高良 秀彦
たから ひでひこ

最近気になっているもの
ウォーキングの再開

本校の専攻科は平成21年4月に設置され、今年度の入学生が15期生となります。機械工学、電気電子工学、情報工学、生物工学の各分野において深い専門知識を修得し、さらには異なる分野の知識も修得し、融合・複合化の進んでいる産業界において実践性・創造性を兼ね備えた技術者の育成を目指し、専攻科名を「創造システム工学専攻」としています。

専攻科1年生の前期では、PBL授業として「創造システム工学実験」を行いました。課題発見から議論、提案、発展、解決のプロセスを学ぶエンジニアリングデザイン教育を実施し、設計、製造、工程管理、予算管理などで実践力を養うことを目的としています。今年度は、地域の課題解決を目指して次のテーマに取り組んでいます。廃棄されている地域資源（ビール酵母と麦芽粕）を活用した沖縄料理を開発しています。また、名護子ども食堂と連携して、子ども達の咀嚼回数を増やして口腔健康を改善するために、乾燥酵母を加えた歯ごたえのある食品の開発、および咀嚼運動を促進させるアプリケーションの作成を行っています。また、沖縄伝統のサバニ文化の周知と継承を目指して、サバニの造船、メタバース空間での乗船体験等による「学ぶ」と「遊ぶ」プロジェクトに取り組んでいます。これらの成果は、7月29日のオープンキャンパスで展示しました。9月16日の20周年記念式典でも紹介する予定です。

2年生は、昨年度から学位授与機構の学修総まとめ科目である「特別研究」に取り組んでいて、今年度は「特別研究II」としてまとめの時期となります。学位授与および年度末の最終発表を目指して、教員や同僚と活発に議論をしたり、実験等に励んだりしています。研究においては失敗や計画通りにいかないこともありますが、自分で問題点を見つけて課題解決のために研究計画を修正し、これまで学んだ知識を総合して問題解決ができることが重要です。壁にぶつかった際（ピンチの時）は、自分の能力を向上するよい機会（チャンスの時）だと思って壁へ挑んでください。

今春、専攻科からは、23名の先輩たちが新しい進路へ歩んで行きました。彼らが努力して学んできたことは新たな世界で実を結ぶでしょう。皆さんも将来の目標を目指して学修に励んでください。



課外活動の紹介「ICT委員会」

委員会紹介

ICT委員会は、沖縄高専の創立当初から存在する歴史ある学生団体のひとつです。

活動内容は主に、高専プロコンやパソコン甲子園といったプログラミングコンテストに出場しプロダクト（アプリ）開発や部活内でのLT大会（成果発表会）、外部団体や企業が開催するハッカソン（短期間でのアプリ開発イベント）の参加です。

学年の枠にとらわれず、1年生から5年生まで総勢約50人の部員で日々技術力の向上に努めています。

さらに、学生だけでなくICT委員会の卒業生（OB・OG）との繋がりも強く、卒業生が在籍する企業との交流会も開催しています。

昨年度まで新型コロナウイルスの影響で対面での活動やイベントが制限されていましたが、今年度は制限が緩和されているため、オフラインで部員が交流できるようなイベントの開催を計画しています。

委員長挨拶

メディア情報工学科3年 ^{しまぶくろ いしず} 島袋 伊玄

ICT委員長のメディア情報工学科3年の島袋伊玄です。私は委員長として部内イベントの開催や、大会に出場する部員が大会に集中できるような環境作りをすることを目標としています。ICT委員会は、基本5人の運営メンバーとその他の1～5年生の部員で構成されています。活動内容としては、毎年大会本選に出場をしている高専プログラミングコンテストなどの大会に向けてアプリケーション等の開発をする他にも、部内LT大会というプレゼンテーション大会や技術講座など、さまざまな活動を行っています。

部内では先輩後輩間でも話が弾むほどに仲が良く、雑談をするほかにも普段から部員同士でよく技術を教えあったりしています。

顧問挨拶

メディア情報工学科 ^{きんじょう あつし} 金城 篤史

今年度からICT委員会の顧問を担当しているメディア情報工学科 金城です。ICT委員会とは、博士課程の学生をしているとき沖縄県のICT関連のコミュニティで知り合って以来の縁です。その当初からICT委員会は面白いものを作ることや、面白いことをすることを積極的に行っていました。今後も、部員や卒業生、県内・県外の外部の人たちと積極的に交流し、技術を伸ばして行ってほしいと思います。

活動記録



1年生クラス紹介・入学してからの感想



あむる こうたろう
安室 昊多郎



1年1組の級長をさせていただいております、安室昊多郎です。1年1組は、担任の面白いベテランの小池寿俊先生と、副担任のたとえ話が上手な藤本教寛先生、そして1年生41名で構成されたクラスです。とても静かなクラスで、よく言えば平和ですが、まだ皆がクラスになじんでいるとは言えないかもしれません。

しかし、ここ最近では、クラスの中でグループがいくつかできて、休み時間には集まってゲームをしたり、おしゃべりをしたりして、少しずつクラスが打ち解けあってきています。あと少しで前期は終わりますが、後期での高専祭などの行事を通してさらに楽しいクラスにしていけたらいいと思っています。

僕が思う沖縄高専の特徴は、高専外から、お偉いさんや企業の社長さん、高専の卒業生などの方々がお越し下さることです。1年生の前期では、高専セミナーという講義があり、外部の方から、アントレプレナーシップ教育についてや、私たちの進路に役立つ情報を提供してくださっています。

今年度から始まる、観光・地域共生デザインコースや、航空について学べる、航空技術者プログラムなども沖縄高専ならではの魅力だと思います。このような恵まれた環境を活かして、日々成長していきたいと思っています。



おど ゆりこ
小渡 ゆりこ



1年2組最高!!!! なぜかって?まずはこちらの体育祭での実績をご覧ください。

＼【白組優勝】【1学年優勝】【総合優勝】／

はい、総ナメです。入学してから一か月でここまでの快挙を上げた一年生がいたでしょうか(いやいるはずがない)。ここからも見て取れるように、1年2組は団結力のあるとても仲の良いクラスです。運動神経抜群で優しくダンディーな担任:ワターニョ、マッチョな副担:カーマン先生や、個性豊かで元気な男女41名と過ごす日々は常に充実しています。男女の壁も無く和気あいあいとしてとても楽しいです!

ただ一つ学校生活で難点があるとすれば、それはやはり授業の進む早さと難易度…。まだ一学期前半というのに音を上げたくなるほど難しく感じます(中学校との差が大きすぎる!!)。県立高校と違い「専門教科」や「90分授業」、「60点から赤点」といった要素が私たちを確実につぶしに来ています。しかし困っていたらクラスメイト同士で教えあったり助け合いがあったりするの、2組の良いところだと再確認されました。辛いことも増えただけそれ以上に楽しいことも増えたので結果オーライ!

あつという間に1学期前半が終わってしまうけれど、1学期後半や2学期でもクラス全体で明るく楽しく盛り上がりしていきたい! 1年2組最高!!!!



ちねん えいじゅ
知念 栄樹



1年3組メディア情報工学科の知念栄樹です。沖縄高専に入学して3ヶ月が経ちますが、90分授業が短く感じるようになるほどこの学校に慣れてきました。私達3組は最初は静かでしたが、担任の数学科の吉居先生が、グループ別で先生方の研究室を巡る取り組みを作ったことで、皆と話すきっかけができ、寮生活ということも相まって今では休み時間も賑やかなクラスになっています。ゲームやアニメ、漫画など共通の話題も多く、授業スピードも早く、1年生から数IIがあつて勉強が大変ではありますが、勉強でわからない所があれば友達同士で互いに教え合い、皆も吉居先生も気力のもとない定期テストに備えています、

高専で過ごしていて、いくつか感じたこととして、校則が基本的に無いので、服やアクセサリでその人の個性が理解しやすいところや、広い学年の人と知り合つて、縦のつながりも広げられるということがあります。その中でも、特に感じたのが、時間が過ぎるのが早いということです。授業以外でも、研究室に入って、多種多様な分野の研究や実践ができる創造研究、部活動や体育祭もあり、毎日忙しいです。もう前期が終わってしまうのかと、他の高校が夏休み期間に入りながらも、前期期末テストの勉強の真っ只中で、この高専だよりの原稿を書きながら、日々がどんどん過ぎていくのを感じています。忙しい日々を過ごす中で、タイムマネジメントの重要性が再確認できました。他にも特色として、機械科、情報科、メディア科、生物科が1,2年生では1クラスにまとめられているので、それぞれの専門性について学びつつ、学科関係なく互いを理解し、個性を活かして楽しいクラスにしていこうと思います!



こや いろは
呉屋 彩葉



1年4組生物資源工学科の呉屋彩葉です。私たち4組は、女子14名、男子27名で構成されたクラスです。

担任の山内先生は体育祭の時、みんなにジュースを買ってきてくれたり、学生の意見に耳を傾けてくれたりと、常にクラスのことを考えてくれてとても優しく、副担任の木村先生は木曜日のSHRでしか会う機会がありませんが、とても話やすく、様々な情報を教えてくれ面白い先生です。

私たちは入学数日後にUNOをしたことをきっかけにみんなすぐ仲良くなりました。4組の教室は友達同士で話したり、笑顔で溢れていたり、日頃賑やかで、学校に行きたくなるような楽しい雰囲気です。

私たち4組のいいところは、1人1人が意見をしっかり持っていることで、クラスでの決めごとをする際にもみんなが意見を出してくれるため、スムーズに進みます。また、人を募集した際にも嫌がらず積極的に手を挙げてくれ、本当にクラスみんなが優しいです。授業中の時でもみんなて教え合いができ、男女限らずみんなで教え合っている光景をよく目にします。4組はどのクラスよりも明るく友達思いのクラスだと思います。

私は1年生のクラスが4組で良かったと毎日思います。まだ高専に慣れず勉強が追いつけるか不安になったり、親元を離れ寮で暮らすことで今までとは違うことがたくさんあり、戸惑うと思いますが、4組の良さを武器としてみんなで協力したり、相談などをして、これからも乗り越えていきたいと思いました。

2年生クラスの様子・活動紹介



しょ み じ ま ひ ま り
諸見謝 陽鞠



2年1組は40人クラスで、そのうち女子は9人です。男子は女子に優しく、全体的に仲の良いクラスです。このクラスの一番いいところは、自主性があるところです。各々が自分の意見をしっかり発言できるため、体育祭やクラス企画の時の話し合いをスムーズに進めることが出来ました。初めてのクラス会議では進行役をうまく務められるか不安だったのですが、クラスの人や担任の先生は私が失敗しても嫌な顔をせずフォローしてくれたり、優しく見守ってくれたりしてくれ、とても嬉しかったです。クラスレクの回数を重ねるごとにどんどんクラスの仲も深まっていき、普段一緒に行動しない人とも課題を協力して解いている姿が見られるようになりました。全体的に明るく大人びた雰囲気、居心地がとても良いクラスです。楽しかった分、あっという間に2年生も半分が過ぎてしまいました。クラスレクに尽力してくれた先生方、2年1組の皆さん、本当にありがとうございました。後期もクラスの人たちとより良い関係を築いていきたいなと思っています。



し ま ぶ く ろ た い せ い
島袋 太聖



2年2組前期級長の島袋太聖です。
2組のメンバーは良くも悪くもマイペースで、静かな人が多いクラスだと思います。役員などを決める際は、名乗り出てくれる人はあまりいなくて、結局級長である自分がランダムで決めることになるのですが、与えられた仕事はみんな嫌がらずにしっかりやってくれる良いクラスです。席替えをしてもあまり騒がしくならず、怖くなるほどです。授業中は、積極的に質問に答えたり先生と会話したりする人は少ないですが、出された課題は静かに黙々と解いている人が多いです。グループワークや自由な話し合いの時間でも騒がしくなることはなく、普段はマイペースだけけどやるときはしっかりやるクラスです。

担任の成田先生はいつも生徒目線で話をしてくれて、話しやすく優しい先生です。生徒のことをしっかり見ていて、色々助けてくれます。副担任の下郡先生はいつも面白い話をしてクラスの空気を盛り上げてくれます。

後期は高専祭があります。みんな普段はいつも一緒にいるメンバーとしか話しませんが、体育祭などでも全員が自分の仕事をしっかりやっていたので、高専祭でもみんなで協力していいものができると思います。

2年生はもう半分も切ってしまいましたが、これからもっとクラスの雰囲気を明るく、発言しやすいようにしていきたいと思っています。

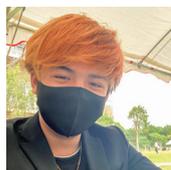


な か む ら め く み
中村 恵



2-3後期級長の中村恵です！
2-3は担任の吉井りさ先生(英語)や副担任の山本先生(数学)を含め、2年生の中でも特に個性豊かな人間が集まったクラスです。多くの先生から黒板が綺麗とよく言われます。また、2-3だけ学生のアイデアで教卓前(最前列の真中)に座席を配置していないので、広く感じます。コスプレ好きな学生は時々アニメや漫画などのキャラクターのコスプレをして授業を受けたりしています。ユニークで各々が楽しめるクラスでいいなと思います。後期の高専祭ではどんな面白い出し物が出されるか楽しみです。また、私たちのクラスでも楽しいものを作りたいです！

私は1年生の時にロボットアイデア甲子園に参加しました。初めて開かれた沖縄大会で最優秀賞を受賞し、大阪で開催された全国大会へ参加しました。全国大会では、実現性が高く評価され、不二越賞を受賞することができました。考える力が養われ、すごくよい経験になりました。今年は航空宇宙同好会を設立させようと準備を進めています。航空宇宙同好会では、ロケット製作や缶サット(缶サイズの人工衛星)製作を行いたいと考えています。興味がある人は是非声をかけてください！



さい ぞ ん ・ じ ゅ う ま
サイソン・ジューマ



皆さんこんにちは。情報通信システム工学科2年のサイソン・ジューマです

前期級長やクラスの皆から半ば強制的に後期級長にさせられた身分として2年4組を紹介していきたいと思っています。

いろいろな友達から2年4組の印象を聞いたところ「雰囲気楽しそう」「気軽に声がかかりやすいクラス」「悪魔が潜んでいる」等とされているようです。

自分的には「悪魔が潜んでいる」という部分に深く共感しました。その理由としては、何かを決めるときに誰かが他人の名前を出すや皆そろってその人が断りにくいような雰囲気を作るのが得意という部分です。この話から4組は「団結力の高いクラス」に見えます。「団結力の高いクラス」から話を進めると2か月ほど前に行われた体育祭での学級別リレーでは皆が団結をし1位を取ることができました。

我々2年4組の軽い紹介をしましたが、高専生ならば楽しみにしているであろう高専祭に向けて悪魔が潜みまくっている団結力の高めめのクラスとして残る僅かな高専イベントをやり過ごしたいと思います。

以上悪魔だらけのクラスのお世話をする後期級長からの2年4組の紹介でした。

3年生クラスの様子・活動紹介



機械システム工学科

なかもと りん
仲本 凜

こんにちは。3年機械の紅三点の一人である私が紹介を承りました。クラスを代表するという重圧に耐えつつ、貴重な機会に感謝してありのままを書かせて頂きます。

私たち3年機械は明るく元気で、笑い声の絶えないにぎやかなクラスです。「動物園」や「猿」という比喻表現が似合うくらい賑やかで、大声で叫ぶことは避けられない機械生の性質と言えるでしょう。もう一つの性質として体を動かすことが好きなので、体育祭や実技の時間の盛り上がりはすごいです。やはりあの比喻は的を射ています。この元気が機械科の雰囲気を作るのに欠かせません。

一つ安心してもらいたいのは、機械科にも落ち着いている人はいます。私がここまで冷静でいられるのはその方たちのおかげです。正反対ともいえる人たちが同時に存在していることが機械科の魅力だと思います。

正反対なのは学生だけではなく、やんわりと進路を意識付けさせてくれる担任の津村先生と鋭く現実を教えてくれる副担任の安里先生がタッグを組み、私たちをサポートしてくれます。

そろそろ自分の将来を考えなければならない時期になりました。悩みながらも精一杯三年生をやり切りますので、応援の程よろしくお願ひします。



情報通信システム工学科

うえだ たけろ
上田 剛瑠

2年半があっという間に過ぎ去り、とうとう高専の5年の折り返し地点にやってきました。

3年生になり、私たちクラスはこれまで以上にイベントを楽しむことができている。感染症対策による厳しいマスク生活を経て、みんなの笑顔をより多く見る機会が増えました。4月に久しぶりの体育祭が開催され、その実行委員を務めたのは、私を含む3年情報からの7名でした。4年ぶりの体育祭は、企画の難しさに頭を悩ませましたが、みんなの絆を深める素晴らしい機会となりました。私は、協力し合いながら、楽しい体育祭を実現できたことを誇りに思っています。

3年情報は、毎週のようにレポート課題というイベントに追われています。時には愚痴をこぼすこともあります。しかし、それも一人ひとりが成長するために必要な経験であり、仲間と支え合って困難を乗り越えられることに喜びを感じます。

これから一丸となって、10月に控えた高専祭や12月の台湾研修旅行に向けて準備を進めていきます。特に台湾研修旅行は、楽しみで仕方ありません。たくさん思い出を作りながら、知識と経験を積み重ね、明るく楽しい雰囲気大切に、共に助け合い、成長し合っていきたいと思っています。



メディア情報工学科

うえはら れん
上原 錬

皆さんこんにちは。メディア情報工学科3年の上原錬です。

今年は転科生と留学生が加わり、男子32名、女子16名、計48名の3学年で一番人数が多いクラスとなりました。授業内ではおとなしいクラスですが、男女ともに仲が良く、よく休み時間や空きコマにトランプや人狼といったパーティーゲームをして遊んでいます。

今年度からコロナに対する規制が緩くなり、マスクも任意になりました。また、高専3年目にして初の体育祭も開催されました。運動系の学生が少ないメディアですが、一致団結し、楽しむことができました。

3年から混合学級ではなく学科別のクラスとなり、より専門的な授業が増えてきました。当然レポートも増え、今までレポートをあまりやってこなかったメディアは、音を上げながら取り組んでいます。

難しい科目もありますが、お互いに協力し、日々研鑽しながら過ごしています。

高専生活もあと半分です。今後は、就職か進学など自分の将来について考える時間が増えていきます。この3年生の間で自分が何をしたいのかなど自分を見つめなおしていきたいと思ひます。

後期には、高専祭、研修旅行など様々なイベントが待っています。これからも、持ち前の仲の良さや団結力を生かし、最高の1年にしていきたいです。



生物資源工学科

いたばし ゆうた
板橋 悠汰

沖縄高専に入学した頃の日々を振り返ると、今はすっかり沖縄高専が私にとって身近な場所となっていると実感します。そして3年次からは学科別のクラスによいよ別れ、専門科目のレベルの高さに驚かされています。この5月からは行動制限が解除されつつあり、実験科目も本来に姿に戻って、今、楽しさと忙しさといっぱいです。特に、化学および化学実験法では、先生のサポートが私たちの学びを豊かにしてくれ、苦手だったレポート作成も、基本的な書き方を学べました。

3年生物ニュースとしては、留学生のフォンさんが編入して来ました！私はフォンさんのチューターとして活動していますが、彼の優れた能力に触れるたび、しっかりとサポートできるように勉強しなきゃと感じています。専門用語などの知識を共有しながら、互いに成長できることを楽しみにしています。

後期は、高専祭や研修旅行などの課外活動が楽しみです。研修旅行では大阪周辺を訪れる予定です。私は、京都にも足を運び、HORIBAやSHIMADZU、ナカライテスクなどの実験室でよく見る器具・試薬メーカーなどの企業を訪れて学びたいと思っています。3年次の残りの後期も、クラス一丸となって学業・課外活動を頑張りたいと思ひます。

学生会より



学生会会長
情報通信システム工学科4年
しんじょう ふうと
新城 楓澄

令和5年度学生会会長を務めております、4年情報通信システム工学科の新城楓澄です。

今年度から新型コロナウイルスによる制限が軽減されたため、様々なイベントを行いやすくなりました。今年度も半期が終了しようとしていますが、学校全体が新型コロナウイルス流行前の様に賑やかになってきていると感じます。学生会では、多くなイベントを通して学生がより楽しく過ごせる学校づくりを目指しています。

今年度実施したイベント、企画しているイベントを紹介します。今年度は、4年ぶりに体育祭を開催しました。4年生までの学生は初めての体育祭ということもあり、イベントは大盛り上がりで成功しました!大きなイベントとして、20周年記念イベントと高専祭を予定しています。今年度は沖縄高専設立20周年ということもあり、20周年記念イベントを企画しています。また、記念品として学校Tシャツを作ろうと思っています。

高専祭は二日間にまたがるイベントで毎年ものすごく盛り上がります。学級単位で行う企画のほか、有志出し物やバンドなど、様々なものが楽しめます!そして、季節感を取り入れた行事も実施しています。こどもの日には鯉のぼりを飾り、七夕には短冊と笹を用意し、学生に願い事を書き結んでもらいました。

他にも、高専らしく、ゲーム大会や放課後学習会、定期テスト対策勉強会なども実施しました。後期には、球技大会やゲーム大会、クリスマスイベントなどを予定しています!各イベントには景品を設けることで学生により楽しんでもらいます。

イベントを通して、他学年の学生や先生との交流を増やし、より充実した学生生活を送ってもらえるよう頑張ります。最後までお読みいただきありがとうございます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
体育祭 鯉のぼりイベント	部活紹介 試験対策講座		七夕イベント	校内美化清掃	
10月	11月	12月	1月	2月	3月
高専祭	秋季球技大会	地域清掃 スノーボール	校内美化清掃	冬季球技大会 予餞会	



学生会のメンバー



1年生向け放課後学習会(中間試験対策)

寮生会より



新たな年度が始まり、新型コロナウイルスは5類感染症に引き下げられ、様々な行事やイベントがだんだんコロナ禍前のように近づけられるようになりました。

今年度からは寮でも開寮式、避難訓練対面実施、オープンキャンパスでの寮内見学など、対面での行事開催解禁や、外部の人を寮内に案内するなど、これまでとは違うところも多く、寮生会運営の仕方も難しくなっていると感じます。

ですが制限がなくなり、環境の変化に合わせるのにはいいっぱいで少し大変だと思う反面、これまでよりでき

ることが増えたのに何もしないのはもったいない、そう感じることもあります。大々的に高専祭規模の行事を…とはいきませんが、普段の暮らしに少しだけ変化を与える、そんなちょっとしたイベントを後期からは少しずつ開催していければいいなと思っております。せっかくの後期（好機）ですから、少しでも寮を盛り上げていきたいと思っております。例えば、テーマを決めての寮内コンテストや、寮生同士の交流を深めるミニゲーム大会など、まだまだ未定ではありますが、寮生からの意見も取り入れつつ、新しい事に挑戦していくことに躊躇わないでやっていきたいと思っております。

これからも寮生が不満なく過ごせるようにこれからも試行錯誤を重ね、よりよい寮生活を目指していきますのでこれからも沖縄高専学生寮をよろしくをお願いします。

年間の活動計画表

4月	入学式、開寮式	10月	避難訓練
5月	特例清掃	11月	月例清掃
6月	寮生総会、避難訓練	12月	閉寮式、閉寮前大清掃
7月	オープンキャンパス	1月	開寮式、寮生総会
8月	閉寮式、閉寮前大清掃	2月	閉寮前大清掃、閉寮式
9月	開寮式、部屋替え	3月	入学説明会、部屋替え



航空技術者プログラム紹介



もりざわ せいいちろう
森澤 征一郎
機械システム工学科

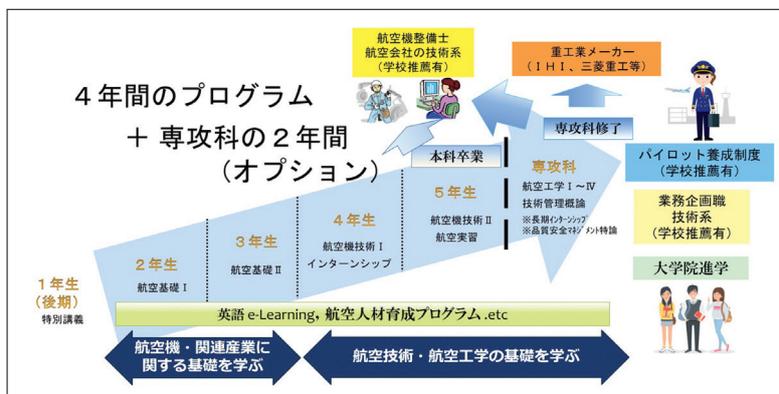
1.教育概要及び昨年度の就職・進学実績を紹介

本プログラムは、本年度より本科2年生から専攻科生までの全ての学生を対象としたプログラムとして、再スタートしました。この再スタートは、これまでの『航空機整備』に重点を置いた内容から多様化する航空業界および学生のニーズに応えるべく『航空関連産業分野を広く学ぶことができるカリキュラム』と変更に伴うものです。

具体的には、本科2・3年生で「航空機および関連産業に関する基礎」を学び、4・5年生では「航空技術や航空工学の基礎」を学ぶことができるプログラムとなっています。さらに、専攻科1・2年生はオプションとしてより高度な内容を学ぶことができます。また、高専の授業にも慣れてきた本科1年生も、後期から日本トランスオーシャン航空（JTA）派遣講師による講義を受講することができます。本プログラム修了後は、JTA、MRO Japanなどの航空関連企業への推薦枠も確保しており、本校より推薦することができます。また、専攻科までプログラムを継続した学生は、琉球エアコピューター（RAC）のパイロット養成制度である「運航乗務員候補者養成（奨学金貸与）制度」や、JTAの「業務企画職（技術系）」などにも推薦することができます。

加えて、本校を含めた全国の4高専と、航空関連産業である航空会社や重工業メーカー（7社）および国土交通省・経済産業省・文部科学省の産学官が連携したオールジャパン体制での航空機製造・整備技術者の育成をする取り組みである『航空産業人財育成プログラム』にも参画しており、eラーニング教材や訓練・実習コンテンツなどが提供され、これまで以上に幅広く学修できるとともにより多くの進路選択ができるようになっていきます。

航空関連産業は、力学、材料、流体、熱、電気、電子、情報処理などの多くの先端技術が結集



航空技術者プログラムの概要



特別講義及び学内のエンジン用いた講義の様子



した産業領域です。近年では、藻類、廃食油などに由来する持続可能な航空燃料と呼ばれるSAFに注目が集まり、バイオテクノロジーも不可欠な存在となりつつあります。本校の4学科では、これら技術の基礎を学ぶことができ、様々な実践的教育が貢献できる分野でもあります。沖縄県においても島嶼地域の地理的環境にあって、航空関連分野が新たなリーディング産業として期待されています。

昨年度もコロナ禍にあり、航空業界への就職は非常に厳しい状況下にありました。それでも、本科・専攻科を合わせて6名が本プログラムを修了し、その内、本科5年生は1名が航空関連企業に就職し、専攻科生も1名が航空宇宙工学専攻のある大学院に進学しました。また、本科5年生の受講者の中には、専攻科へ進学して航空関連の産業や大学院を目指しています。

観光・地域共生デザインコースの紹介

1. 教育概要等

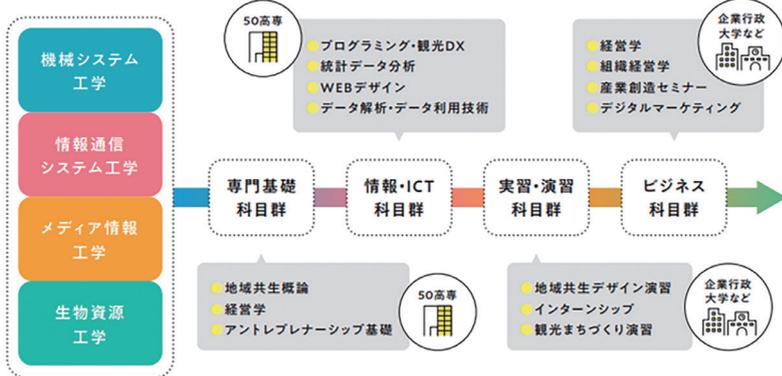
専門教育に加え、地域の事を考える教育をしっかりと行うことで、「新たな価値を創造できる人材」を育成します。

今、地域の経済発展と社会的課題解決に向け、柔軟な発想力と実践力を備えた若い人材が求められています。中でも、地域の強みを見出し、それを伸ばし、地域の発展に貢献するため、新たな価値を創造できる人材の輩出が、このコースに求められたミッションとなっています。観光・地域共生デザインコースでは、環境技術と情報処理技術を基礎とした工学系の専門知識と広く人文社会系の素養を身につけ、観光資源開発や地域共生システムをデザインできる創造性豊かな人材を育成します。このコースを受講した学生は、自身の専門分野に地域共生デザイン力を組み合わせ、新しい付加価値を創造できる能力を身につけ、沖縄の地域の未来をデザインできるエンジニアを目指します。



特色ある科目

数学的思考や情報処理能力と経営企画能力との統合を目指した科目を取り入れています。観光と地域共生システムを環境に調和させつつ構築できるような実践的・創造的技術者を育成します。



社会貢献型ビジネス人材
(NPO・ソーシャルビジネス等)

スタートアップ型ビジネス人材
(ITベンチャー等)

観光業界即戦力人材
(システム開発・コンサルティング等)

地域社会貢献の取り組み (産業廃棄物×地域課題×工学)



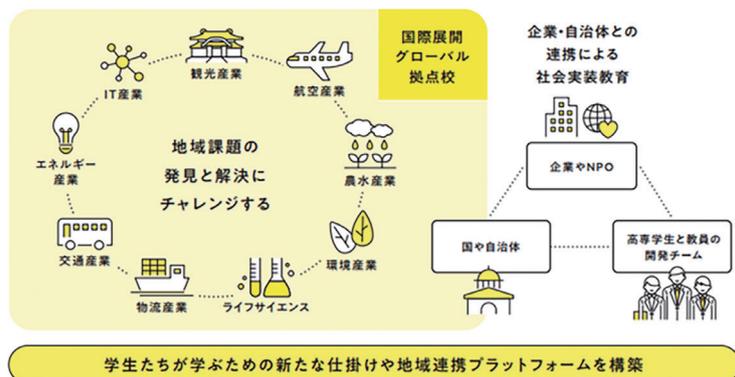
産廃の有効活用とこども食堂のサポートで誕生した人気商品！

名護こども食堂の子どもたちと麦芽粕を使用した商品開発を行い、誕生したのが「沖縄Tacoスパ」。半年という短い期間で商品化が決定し、イオン名護店、東京でのテスト販売でも目標を大きく超える販売実績を残しています。売上の一部が子ども食堂を利用する子ども達の支援として寄付されています。

特色ある教育で身につく力

観光・地域共生デザインコースでは、民間の最先端の現場に立つ講師を招いた授業を取り入れたり、「社会のために何をつくるべきか？」を地域社会と共に考え、取り組む「社会実装教育」を行います。

- 身につく力**
- ① 観光・地域共生の視点から、自然・人文科学の基礎知識をもとに論理的に思考できる能力
 - ② 情報技術の基礎知識を備え、ハードウェアとソフトウェア両面から社会問題を解決できる基本技術力
 - ③ 経済と経営の基礎知識を理解し、統計やデータ解析を用いて地域課題の解決策をデザインできる能力
 - ④ 地域の自然・都市・交通を含めた環境の基礎知識を有し、新たなリソースを発見・提案できる基礎的企画力



キャリア教育センター活動紹介



つむら たくや
津村 卓也

キャリア教育センター長

昨年度の就職実績や取り組みについて紹介

2月のロシアによるウクライナ侵攻や新型コロナウイルス感染症（COVID-19）累計感染者数の6億人突破、これらによる資源・エネルギー価格や物価の高騰と32年ぶりとなる1ドル150円台の記録的円安など、昨年度は世界と日本の経済に多大な影響を及ぼす事柄が大きなニュースとなりました。そのような経済状況の下、本科を卒業した学生の38%が沖縄高専専攻科や4年生大学などへの編入を、45%が就職を決め、また専攻科を修了した学生の27%が大学院への進学を、64%が企業への就職を決めました。

キャリア教育センターの活動は、キャリア教育に関連する講演会・セミナーの多くをCOVID-19の流行状況を勘案しつつ、オンライン形式やオンデマンド形式で実施しました。インターンシップ実習については、COVID-19感染拡大予防ガイドラインを策定し、学生の受け入れ希望企業にガイドラインに則った実施を依頼し、実習受け入れ先のおよそ8割で対面実施をすることができました。また、二年間実施が見送られていた研修旅行は、4年次の3学科（3学科の在籍学生のうち68%が参加）、3年次の3学科（3学科の在籍学生のうち91%が参加）が関東、関西、福岡、北海道で令和4年12月初旬に実施することができました。さらに、二年間オンライン形式で実施していた合同業界研究会は、徹底したCOVID-19感染症対策の下、令和4年12月16日の午前と午後、及び令和5年1月18日午後（2会場）に分けて対面で実施し、12月は104団体、1月は48団体の企業等が参加されました。

本センターは、本校学生のキャリア形成と学生及び卒業生の進学・就職活動支援を目的として設置されています。学生のキャリア形成の目標は、学生自身が自己分析・自己理解を進め、インターンシップなどを通じて社会やさまざまな職業を理解していくことで自分の進路を自分で決定できる能力を養うことにあります。この目標を実践するためのキャリア教育実践ツールとして、令和2年度から本科生の全学年で『沖縄高専 Career Log（沖縄高専版「キャリア・パスポート」）』に年2回、学生自身に記録をしてもらっております。

COVID-19が今年5月に5類感染症へ移行し、その影響は徐々に緩和されていくとみられますが、「高専の学びを安全に提供する」観点で学生のキャリア形成を支援するため、キャリア教育基本プランを策定し長期計画・年間スケジュールの見直しを随時図っていくとともに、担任の先生や、グローバル交流推進センター、地域連携研究推進センターなどの学内組織、学外の多くの企業・団体などの方々にもご協力を仰ぎ、連携しながら各学年に対して学生のキャリア教育と進路活動支援に取り組んで参ります。



合同業界研究会の様子：令和4年12月分

卒業生の活躍の様子

こ ばしかわ しゅうた
小橋川 秀太 沖縄高専6期生 機械システム工学科 卒業生



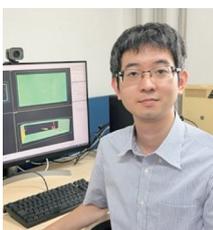
「在校生に伝えたい事」

この度、2023年8月1日より沖縄高専の技術職員として採用されました機械システム工学科6期生の小橋川です。在学中の4年間は高専ロボコンに熱中し、卒業研究では水中ロボットの開発を行うなど、モノづくりに熱中していた学生時代でした。

専攻科修了後は「株式会社ダイハツビジネスサポートセンター」に入社し、自動車外装の設計者として第一線で自動車の開発を行っていました。企業で働くということは、課題を自ら抽出して解決までの道筋を見出すため学生時代の過ごし方とは一変しました。学生時代で学んできた経験をフルに活かして1つ1つの課題を確実にこなしながら乗り越えて仕事を進めていきました。私自身もそうでしたが、「今学んだことは将来役に立つのか?」と疑問を持つことは多々あると思いますが、得た知識・経験は何かしらの形で社会人になった時に活かされます。

現在学んでいる専攻に関わらず、できるだけ幅広い分野を少しでも知ることは大きな経験になるので、色々なことに挑戦して視野を広げ、何もやらないという選択肢は捨てて「失敗 (= 経験)」をたくさんして自分の「経験値」を高めるような充実した学生生活を過ごしてください!

しんざと しゅうへい
新里 秀平 沖縄高専3期生 機械システム工学科 卒業生



機械システム工学科3期卒業生の新里秀平です。現在、私は大阪大学 大学院基礎工学研究科 機能創成専攻で助教を務めています。2013年に専攻科を卒業した後、現在所属している大阪大学の大学院基礎工学研究科に入学し、博士後期課程まで修めて学位を取得しました。学位取得後は博士研究員を経て2020年から現在の職に就き教育・研究活動に取り組んでいます。現在の研究室では原子レベルでの材料力学を数値シミュレーションを用いて理論的に取り扱う研究を行っています。これまでの研究活動を振り返ると、高専時代に学んだ専門知識そのものであったり、PBLやグループ学習の経験が役に立つ場面が多くありました。そのため、高専在学中に非常に多くのことを学び、身に付けてきたのだと実感しています。高専で5年間、あるいは7年間集中して工学分野の高度な専門知識を学び、それらの知識を応用した問題解決能力を養うことは、技術者としてだけでなく研究者として活動するうえでも非常に実りのある経験だと信じています。高専で学ぶことは、これからどのような進路を歩むにしても必ず自身の糧になると思いますので、在学生の皆さんには自信を持ち、目標に向かって進んで行っていただきたい思います。

まかびひろの
真嘉比 浩乃

沖縄高専13期生 情報工学コース 卒業生



沖縄高専13期卒業生の真嘉比浩乃です。私は2023年3月に専攻科を卒業し、現在は北陸先端科学技術大学院大学に在学しています。弊学は他の高専出身の学生や外国人留学生、社会人学生など多様な背景をもつ学生により構成されています。授業も、高専で聞き馴染みのある内容から全く取り組んだことのない内容まで非常に多様で

そのため、新しいことを学んだり挑戦したりするためにはピッタリな環境が揃っています。私も現在は、自身の専攻分野に見識がある友人やおもしろいことが好きな友人と一緒に何かアイデアを考え、それをプロダクト作成・イベント運営まで繋げる取り組みに参加しています。

高専で身につけられるものは、決して専門知識だけではありません。新たに発見した自身の得意・不得意や、授業・研究での苦い経験、友人との他愛のない会話など、その全てが将来の糧となります。私も高専在学時は研究・進学のことでも苦しむこともありましたが、当時抱いた気持ちは現在の研究の動機に繋がっていますし、話を聞いてくれた友人とは現在も交流が続いています。在学生の皆さん、学生生活では勿論学業も大切ですが、学生生活で得られた人とのつながりや自身の気持ちもぜひ大切にしてください。



なかむら しょう

中村 将

沖縄高専11期生 電子通信システム工学コース 卒業生



私は発電所の点検や納入などを主な業務としています。対象地域は全国各地だけでなく、海外にも行くことがあり、今年にはニュージーランドにて地熱発電所の納入を行っております。海外での生活は、想像以上に充実しております。買い物や仕事で言葉の壁がありますが、現地の人はとてもフレンドリーに接してくれ、会話をしているのが楽しいです。自分の伝えたい意思があれば、コミュニケーションはどうかと実感しています。



また、写真の“PAKinSAVE”と書かれた建物はスーパーマーケットで、多種多様な食材があり、ほとんど毎日利用していますが、食事のレパートリーが尽きません。もう一枚の写真は、ニュージーランドに住んでいる家で、一軒家をレンタルして、会社の同僚2人とシェアハウスして暮らしています。

はじめは海外で生活することへの不安もありましたが、周りの環境にも恵まれ、海外生活を満喫しています。様々な場所に行ける機会が多いのは若いうちだと思うので、一度、海外へ行くことはいい経験になると思います。

はやし こころ

林 心

沖縄高専13期生 生物資源工学科 卒業生



皆さんこんにちは！サントリー山崎蒸溜所 醸造グループの林です。2021年入社で、今年3年目になります。

沖縄高専では生物資源工学科13期生の玉城研でした。(2016年入学?昔過ぎる笑)

私が今どんな仕事をしているかというと、「ウイスキーの原酒製造」です。ウイスキーが琥珀色に染まる前の、透明な原酒(ニューメイク、ニューポット)を作っています。

元々醸造の仕事がしたかったのですが、変化していく原料たちや、もろみを見ていると、「楽しい」と感じるがあります。そういう時は、やはりこの仕事で正解だったなと実感できます。(きれいごとだけじゃなく、こんな会社辞めてやろうか、とか、コノヤロー!!と思う時もたまにあります、なんとかやっています笑)でも、今は転職があたりまえの時代なので、「一生この会社に勤めあげる!!」などは考えずに就活に挑んでも良いかと思えます。

最後に、学生生活でやっておいた方がいいことをいくつか紹介します。

メールの書き方・報告書(レポート)の書き方・納期の厳守・周りの人と協力する・コミュニケーション能力の育成です。特に高専生はコミュニケーションが苦手な子が多いので、一日一回、誰とでも何の話題でもいいですから、会話をするようにしましょう!

今学んでいることすべてが有効活用できるかと言ったらそうではありません。ですが、今まで学んできたことのすべてが、必ずあなたの武器になります。

私もまだまだひよっこですが、大阪から皆さんのこと応援しています!一緒に頑張りましょー!!

後学期行事予定

創立20周年記念式典

9月16日(土)

高専祭

10月28日(土)～10月29日(日)

研修旅行

(本科3～4年)

12月5日(火)～12月8日(金)

冬季休講

12月25日(月)～1月5日(金)

終業式

2月16日(金)

(問合せ先)

沖縄工業高等専門学校 総務課総務係

TEL : 0980-55-4003 Mail : ssoumu@okinawa-ct.ac.jp